

MIYAGI UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL OF NURSING

宮城大学大学院

令和6年度入学

学 生 募 集 要 項

《看護学研究科（博士前期課程）》

第2次募集

○ 一 般 選 抜

○ 社 会 人 選 抜



宮 城 大 学

目 次

宮城大学大学院及び看護学研究科アドミッション・ポリシー	1
1 志 願 者 に 求 め る 学 生 像	2
2 募 集 人 員	2
3 出 願 資 格	2
4 出 願 期 間	5
5 出 願 手 続	5
6 試 験 日 ・ 試 験 会 場	7
7 選 抜 方 法	7
8 受 験 上 の 注 意 事 項	7
9 合 格 発 表	8
10 入 学 手 続	8
11 入 学 金 及 び 初 年 度 納 付 金 等	9
12 奨 学 金 ・ 授 業 料 の 減 免 等	9
13 試 験 成 績 の 開 示	9
14 入 学 者 選 抜 試 験 成 績 等 の 個 人 情 報 に つ い て	10
15 長 期 履 修 制 度 に つ い て	10
16 問 い 合 わ せ 先	10
入 学 者 選 抜 手 数 料 支 払 方 法 の ご 案 内	11
令 和 6 年 度 宮 城 大 学 大 学 院 看 護 学 研 究 科 (博 士 前 期 課 程) の 概 要 に つ い て	12
宮 城 大 学 大 学 院 看 護 学 研 究 科 博 士 前 期 課 程 窓 口 教 員 出 願 連 絡 先 一 覧	15

宮城大学大学院アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

宮城大学大学院は、本学の理念や各研究科の人材養成目標を理解し、意欲を持って主体的に学修に取り組み、高度専門職業人又は研究者として積極的に地域社会に貢献しようとする意志と、そのための基礎となる広い視野と必要な学力を備えた学生を求めています。

【入学者選抜方針】

専門領域に関する試験（筆答試験、口述試験等）、外国語（英語）、小論文、面接、出願書類などによって、必要な学力や知識及び技術、意欲、適性を評価します。

看護学研究科アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

看護学研究科博士前期課程では、基礎的研究力及び高度な看護実践力を身に付けるために必要な学力、意欲、適性を持った人を受け入れます。

看護学研究科博士後期課程では、看護実践経験に基づく専門知識と実践力を有し、高度看護実践指導者や看護学教育研究者を目指す人を受け入れます。

【入学者選抜方針】

看護学研究科博士前期課程では、以下の入学者選抜により、基礎的研究力及び高度な看護実践力を身に付けるために必要な学力、専門領域に関する知識や論理的思考能力、研究計画の立案・遂行能力、表現力、コミュニケーション能力のほか、自らの専門領域や関連領域に対する関心、勉学や研究に対する意欲及び適性を評価します。

- （１）入学者選抜は、一般選抜、社会人選抜によって行います。
- （２）一般選抜では、看護専門、小論文、面接、本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコア、出願書類により入学者を選抜します。
- （３）社会人選抜では、看護専門、小論文、面接、出願書類により入学者を選抜します。

看護学研究科博士後期課程では、以下の入学者選抜により、看護実践経験に基づく専門知識と実践力、専門領域に関する知識や論理的思考能力、研究計画の立案・遂行能力、表現力、コミュニケーション能力のほか、自らの専門領域や関連領域に対する関心、勉学や研究に対する意欲及び適性を評価します。

- （１）入学者選抜は、一般選抜によって行います。
- （２）一般選抜では、専門科目、英語、面接、出願書類により入学者を選抜します。

1 志願者に求める学生像

看護学研究科博士前期課程では、基礎的研究力及び高度な看護実践力を身に付けるために必要な学力、意欲、適性を持った人を受け入れます。

2 募集人員

研究科名	専攻名	課程	募集人員
看護学研究科	看護学専攻	博士前期	5人程度 (社会人選抜を含む。)

＜専門分野＞ ＜専門領域＞

- 1 基盤看護学 ……………基礎看護学・看護管理学
 - 2 成熟期看護学 ………成人健康看護学・がん看護学(※)・精神健康看護学・老年健康看護学(※)
 - 3 次世代育成看護学 …母性健康看護学・小児健康看護学
 - 4 広域看護学 ……………地域健康看護学・在宅健康看護学
- (※)は専門看護師養成コースを設置する専門領域です。

3 出願資格

(1) 一般選抜・社会人選抜共通

次の各号のいずれかに該当する方

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号。以下「法」といいます。）第83条に定める大学（以下単に「大学」といいます。）を卒業した者又は令和6年3月までに卒業見込みの者
- ② 法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和6年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって⑤に規定する文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和6年3月までに授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者
- ⑧ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第1項第6号の規定により文部科学大臣が指定（昭和28年文部省告示第5号）した者

次ページの⑨又は⑩により出願しようとする方は、入学資格審査が必要となりますので、次ページの「入学資格審査」を参照し、審査を申請してください。

- ⑨ 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(いずれも令和6年3月までに在学又は修了見込みの者を含む。)であって、本学大学院において個別の入学資格審査により、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた者
- ⑩ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年3月までに22歳に達する者

※ 学校教育法に定める大学在学者として、⑨により出願し、入学者選抜試験に合格し、本学大学院に入学した場合、在学中の大学については退学扱いになりますので、あらかじめ承知願います。ただし、大学院入学後の学修内容等により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位が授与される制度はあります。

<<入学資格審査>>

⑨又は⑩により出願しようとする方は、入学資格審査を行いますので、必要書類を次により提出し、審査を申請してください。

なお、入学資格審査により入学資格を認定されない場合、出願は受理できませんので、あらかじめ承知願います。

(イ) 入学資格審査基準

区 分	対 象	審 査 基 準
出願資格⑨		英語学力が、英検準1級、TOEIC550点以上、TOEFL パーパーベーステスト500点以上又はインターネットベーステスト61点以上の実力を有すること。
本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学に3年以上在学し(入学時までに在学見込みを含む。)、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた者	4年制大学3年次在学者又は過年度に4年制大学3年次を修了している者	〔3年次在学者〕 次のいずれにも該当すること。 A) 大学2年次修了時点で、卒業必要単位数の1/2以上を修得し、その評価について最上位(100点満点換算で80点以上)であるものが8割以上であること。 B) 大学3年次修了時点で、卒業必要単位数の3/4以上を修得見込みであること。
		〔過年度に3年次を修了している者〕 大学3年次修了時点で、卒業必要単位数の3/4以上を修得し、その評価について最上位(100点満点換算で80点以上)であるものが8割以上であること。
本学大学院において、個別の入学資格審査により、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(いずれも入学時までに修了見込み含む。)であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた者	外国の学校教育制度に基づく高等教育機関(大学等)の在学者(通信教育による課程の履修者を含む。)で、当該国における学校教育の16年の課程のうち15年の課程を修了した者(入学時までに修了見込みの者を含む。)	〔15年の課程修了者〕 15年の課程修了時点で、16年の課程修了に必要な単位数の3/4以上を修得し、その評価について最上位(100点満点換算で80点以上)であるものが8割以上であること。
		〔15年の課程修了見込者〕 次のいずれにも該当すること。 A) 14年の課程修了時点で、16年の課程修了に必要な単位数の1/2以上を修得し、その評価について、最上位(100点満点換算で80点以上)であるものが、8割以上であること。 B) 15年の課程修了時点で、16年の課程修了に必要な単位数の3/4以上を修得見込みであること。
	外国の学校教育制度に基づく高等教育機関(大学等)の教育課程修了者又は外国の学校が行う通信教育を我が国で履修したことによる修了者(いずれも入学時までに修了見込みの者を含む。)で、当該国における学校教育の課程が15年のもの	〔15年の課程修了者〕 15年の課程修了に必要な単位として修得した単位の評価について、最上位(100点満点換算で80点以上)であるものが、8割以上であること。
		〔15年の課程修了見込者〕 14年の課程修了時点で、15年の課程修了に必要な単位の3/4以上を修得し、その評価について最上位(100点満点換算で80点以上)であるものが8割以上であること。

出願資格⑩ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達した者	出願資格①～⑨以外の者	〔資格保有者〕 次のいずれにも該当すること。 A) 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等を卒業していること。 B) 看護師、保健師、助産師のうち1つ以上の資格を有していること。
		〔4年以上の専修学校修了（見込）者〕 修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たす専修学校の専門課程を文部科学大臣が指定する日以前に修了した者。
	新旧学校制度の移行に際し、法令上明確に規定することの困難な旧制度の学校卒業者等	個別に判断する。

（ロ）申請書類

	⑨ 該当	⑩ 資格保有者該当	⑩ 4年以上専修学校該当	作成方法等
E 票 入学資格審査申請書	○	○	○	本学所定の用紙
F 票 履歴書	○	○	○	本学所定の用紙
G 票 研究志望書	○	○	○	本学所定の用紙
入学資格認定基準に係る証明書類	成績証明書	○	○	外国語の場合、日本語訳を付すこと
	卒業（見込）証明書		○	
	免許の写し		○	各資格免許のもの
H 票 専修学校専門課程修了証明書			○	本学所定の用紙
戸籍抄本	○	○	○	証明書類の氏名と現在の氏名が異なる場合に提出
切手344円分	○	○	○	結果通知送付用（速達）

（ハ）申請期限 令和5年11月17日（金）当日消印有効
（ただし、持参の場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び国民の祝日を除く、午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで。）

（二）申請先等 **5** 「出願手続」の2「出願先（郵送・連絡先）」と同じ
※申請に必要な書類がそろっていない場合には、受理できません。また、一度受理した申請書類は、返還しません。

（ホ）審査 審査は、上記（イ）の入学資格審査基準及び（ロ）の申請書類により行います。

（ヘ）審査結果の通知
令和5年12月1日（金）までに本人宛の通知文書を本学から発送します。
なお、令和5年12月7日（木）を過ぎても通知文書が届かない場合は、（二）の申請先まで連絡してください。

（2）社会人選抜のみ

2～3ページの出願資格に加え、次のすべてに該当する方は、社会人選抜試験に出願することができます。

- ① 看護師、保健師、助産師のうち1つ以上の資格を有する者
- ② 入学時において、看護職（養護教諭を含む。）としての実務経験が通算3年以上ある者

4 出願期間

令和5年12月15日（金）から令和5年12月22日（金）まで（当日消印有効）

持参の場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び国民の祝日を除く、午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までとなります。

期間を厳守してください。出願期間を過ぎて到着した場合は受理できません。

5 出願手続

1 出願方法

（1） 出願は、所定の出願用紙及び封筒を使用し、次のいずれかの方法で行ってください。

① 簡易書留速達郵便による郵送（当日消印有効）

② 持参の場合、受付時間は、午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までとします。土曜日、日曜日及び国民の祝日の受付は行いません。

（2） 出願を希望する方は、必ず事前に、志望する専門領域の教員に相談し、受入れが可能であることを確認してください。受入れが可能であることを確認せず出願された場合は、出願を受理することができませんので、ご了承ください。連絡先は、15ページを参照してください。

2 出願先（郵送・連絡先）

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1（大和キャンパス）

宮城大学アドミッションセンター 電話 022-377-8334

3 出願書類等

宮城大学ウェブサイトより、A～D 票を全て印刷の上、記入してください。

提出書類等	摘 要
A-1 票 入学願書	A4用紙に両面印刷したものを提出してください。 必要事項を漏れなく記入してください。
選抜手数料振込依頼書 のうち振込証明書 (大学提出用) A-2 票 又は収納証明書 (収納証明書の場合は、番号はついて いません。)	【入学者選抜手数料を所定の振込依頼書で払い込む場合】 入学者選抜手数料として30,000円を本学所定の振込依頼書（A-2票）で、 出願期間内に金融機関から電信扱いで振り込んでください（ただし、ゆうちょ銀行・郵便局を除く。）。振り込み後、「振込証明書（大学提出用）」（大学提出用として金融機関から渡されたもの）をA-1票裏面の所定の欄に貼り付けてください。 【入学者選抜手数料をコンビニエンスストアで払い込む場合】 コンビニエンスストアで発行された「取扱明細書（兼領収書）」の「収納証明書」部分を切り取ったものを、A-1票裏面の所定の欄に貼り付けてください。
B 票 入学試験受験票・入学試験写真票	A4用紙に片面印刷したものを提出してください。 必要事項を漏れなく記入してください。縦4cm×横3cmの写真（正面上半身無帽、背景なし、出願前3か月以内に単身で撮影したもの）の裏面に志望専門領域、氏名を記入し、写真貼付欄に全面をのり付けして貼ってください。
C-1 票 履歴書 C-2 票 自己申告書 C-3 票 研究志望調書 C-4 票 業績一覧	必要事項を漏れなく記入してください。
出願資格を証する書類	大学卒業（見込）証明書、大学評価・学位授与機構の学位授与証明書、学位授与申請受理証明書、短期大学長又は高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書又は本学大学院入学資格認定通知書等を提出してください。
成績証明書	出身大学の長又は出願資格に係る機関の長が作成し、厳封したものに限りま す。編入学等により他の大学・短期大学等で取得した単位が認定されている場合 には、当該大学・短期大学等の成績証明書もあわせて提出してください。 ※入学資格審査書類として提出された方は、提出不要です。

TOEFL 又は TOEIC のスコアシートの 原本 有効となる試験： TOEFL ITP、 TOEFL iBT、 TOEIC、TOEIC IP	一般選抜により出願する方のみ提出してください。 TOEFL ITP 及び TOEFL iBT は Test Taker Score Report（受験者用控えスコアレポート）。 TOEIC は Official Score Certificate（公式認定証）。 TOEIC IP は Institutional Program (IP) Score Report（個人成績表）。 以上のスコアシートの原本を提出してください（原本は確認後お返しします。）。 スコアシートは、TOEFL、TOEIC どちらか一方、又は両方の提出が可能です。 スコアは、原則として、出願締切日からさかのぼって2年以内に実施されたものに限り有効とします。 宮城大学の卒業者及び卒業見込み者については、令和3年度以降の本学開講科目内で受験した TOEIC IP のスコアをもって提出に代えることができます。 TOEFL iBT の受験者で、出願時までスコアシートの原本が提出できない場合は、TOEFL のウェブサイトより確認できるスコアを印刷したものを提出したうえで、試験当日にスコアシートの原本を提出してください。 令和5年4月以降に実施する TOEIC 公開テストのスコアを提出する方はダウンロードした PDF を印刷し、紙媒体により提出してください。
郵便切手	344円分の郵便切手を、出願書類とともに提出してください。受験票送付時に使用します。
 出願用封筒貼付用紙	任意の角形2号の封筒（A4判の資料が入る大きさ）に、D票「出願用封筒貼付用紙」を印刷したものを貼り、必要事項全てを記入し、封筒に出願書類一式を入れ、出願してください。
その他	①婚姻等により、現在の姓名と各種証明書等の姓名が異なる場合は、戸籍抄本を提出してください。 ②外国人の志願者は、上記出願書類等のほか、市区町村長が発行する住民票（在留資格が明示されたもの）を提出してください。

（注）出願に必要な書類のうち外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

4 出願上の注意

- （1） 出願書類等に不足がある場合は、受理できませんので、出願の際には十分確認してください。
出願書類に不備がある場合は、期限を定めて補正又は追加提出を指示しますが、期限内に補正又は追加提出がない場合は受理できません。
- （2） 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が確認された場合には、入学の許可を取り消すことがあります。
- （3） 出願受理後は、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、宮城大学アドミッションセンターまで連絡してください。
- （4） 受理した出願書類及び入学者選抜手数料は、返還しません。

5 受験票の送付

受験票は、願書受理後、令和6年1月9日（火）頃に発送する予定ですが、令和6年1月12日（金）までに受験票が届かない時には、宮城大学アドミッションセンターに連絡してください。

6 特別の配慮を要する入学志願者の事前相談

本学大学院に入学を志願する方で、障がい等を有する等、受験上又は修学上、特別な配慮を希望する場合は、令和5年12月1日（金）までに、その内容を宮城大学アドミッションセンターに相談してください。

6 試験日・試験会場

令和6年1月20日（土） 会場：宮城大学 大和キャンパス 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

※受験票発送の際に試験開始の時間を通知します。

TOEFL iBT の受験者で、出願時にウェブサイトから印刷したスコアシートを提出した受験生は、必ず試験当日にスコアシートの原本を持参してください。

7 選抜方法

書類審査、選抜試験の成績及び TOEFL/TOEIC のスコア（一般選抜のみ）により総合的に判定を行い、合格者を決定します。

看護専門は、出願時に志望した専門領域から出題されます。

指定された試験科目を1つでも受験しなかった場合は、選抜の対象から除かれます。

試験等の試験科目及び実施時間

【一般選抜】

試験科目	時間	配点
看護専門	60分	100
小論文	60分	100
面接	15分程度	100

一般選抜により出願する方で、出願に有効なスコアを持っていない方は、下記の TOEFL 又は TOEIC を受験する必要があります。

有効となる試験	出願に必要な書類
TOEFL ITP	Test Taker Score Report（受験者用控えスコアレポート）
TOEFL iBT	
TOEIC	Official Score Certificate（公式認定証）
TOEIC IP	Institutional Program (IP) Score Report（個人成績表）

※ スコアは、原則として出願締切日からさかのぼって2年以内に実施されたものを有効とします。

※ 令和5年4月以降に実施する TOEIC 公開テストのスコアを提出する方はダウンロードした PDF を印刷し、紙媒体により提出してください。

【社会人選抜】

試験科目	時間	配点
看護専門	60分	100
小論文	60分	100
面接	15分程度	100

※ 試験開始時間は、受験票発送の際に通知します。

8 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、受験票送付の際に指定される時間までに、指定の試験室に入室し、着席してください。
- (2) 選抜試験の開始後は20分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- (3) 面接開始時に不在であった場合は、欠席したものとみなします。
- (4) 当日は、受験票、鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、腕時計（計時機能のみ）の持参が可能です。必要な方は、鉛筆削器（携帯用）を持参しても構いません。上履きは不要です。

- (5) 試験当日は学内の食堂は営業していませんので、昼食が必要な方は各自持参してください。
- (6) 試験当日受験票を忘れた場合は、受付に申し出てください。
- (7) その他連絡事項が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。
- (8) 面接試験は、受験者本人の了承を得て録音することがあります。録音した内容は、より公正な試験を維持するためにのみ、本学内で使用します。

9 合格発表

令和6年2月2日（金） 午後1時頃

次の方法により発表します。その他の方法による可否に関する問い合わせには、一切応じません。

- ① 合格者に対して合格通知書を送付します。
- ② 宮城大学のウェブサイト（<https://www.myu.ac.jp/>）に合格者受験番号を掲示します。

10 入学手続

入学手続期間 令和6年2月5日（月）から

令和6年2月13日（火）まで ＜午後5時必着＞

- ① 下記（1）の提出書類を簡易書留速達による郵送又は持参にて提出してください。この期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。
- ② 郵送により提出する場合は、必ず「簡易書留速達」により送付してください。入学手続期間を過ぎて到着したものは受理しません。
- ③ 直接持参の場合の受付時間は、午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までとします。ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日は受付を行いません。

（1）入学手続に必要な書類

提出書類等	摘 要
①誓約書兼保証書	様式は合格通知とあわせて送付します。
②入学金振込証明書	・入学金振込依頼書は合格通知とあわせて送付します。 ・入学金納付後に渡される領収書のうち、大学提出用を提出してください。
③本学受験票	手続完了後、返却します。
④住民票又は 戸籍の附票の写し 【該当者のみ提出】	合格発表日以降に発行された原本を提出願います。 11 「入学金及び初年度納付金等」について、「宮城県内の方」に該当する場合のみ、該当者が宮城県内に住所を有している（住民登録されている）ことを確認するため、住民票等（住民票又は戸籍の附票の写し等）の提出をお願いします。
⑤卒業証明書又は 修了証明書 【該当者のみ提出】	3 「出願資格」について、出願時点で「見込み」となっている方は、合格通知の際に別に指定する期日までに卒業証明書、修了証明書又は授与証明書を提出してください。 入学許可を得て、入学手続を完了した方であっても出願資格に係る出身校を卒業（修了）できない場合は、入学許可を取り消します。

- (2) 必要な書類に不足がある場合は、受理できませんので、書類提出の際には十分確認してください。
- (3) 一度受理した書類及び入学金は、返還しません（過誤納の場合を除きます。）。
- (4) 令和6年3月末日までに入学を辞退する場合には、入学手続完了前後を問わず入学辞退届（任意様式：研究科名、受験番号、住所、氏名、入学を辞退する旨を記載し、押印のこと。）を提出してください。
- (5) 令和6年4月1日以降の入学辞退はできません。4月1日以降は授業料が発生していますので、当該授業料を納付した後の退学となります。

（6）入学手続先

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

宮城大学アドミッションセンター 電話 022-377-8334

11 入学金及び初年度納付金等

種 類		金 額	納 付 時 期 等
入 学 金	宮城県内の方	282,000 円	10で規定する入学手続期間内
	宮城県外の方	564,000 円	
授 業 料 (年 額)		535,800 円	入学後、4月(入学した年度は5月)と10月の2回に分けて納付
諸 経 費 (実 費 負 担)		学生傷害賠償保険料 9,000 円 など 詳細は入学手続後にお知らせします。	

※金額は令和5年度入学者の実績ですが、変更となる場合があります。

(注)「宮城県内の方」とは、次のいずれかに該当する方をいい、住所の有無は住民票等で確認します。

ア：入学許可の日(令和6年2月2日)前1年間引き続き宮城県内に住所を有する(住民登録されている)方

イ：入学許可の日(令和6年2月2日)前1年間引き続き宮城県内に配偶者又は1親等の直系尊属が住所を有する(住民登録されている)方

12 奨学金・授業料の減免等

(1) 奨学金(令和5年度実績)

日本学生支援機構の奨学金の申込みは、入学後に行うことができます。奨学金の種類や利子の有無、貸与月額等は次のとおりです。その他制度の詳細は、日本学生支援機構のウェブサイトにてご確認ください。

【日本学生支援機構 <https://www.jasso.go.jp/index.html>】

奨 学 金 の 種 類	利 子	貸 与 月 額
第一種奨学金	無利子	50,000 円又は 88,000 円
第二種奨学金	有利子	50,000 円～150,000 円

(2) 授業料等の減免等

経済的理由により、授業料の納付が困難な学生で、学業成績等所定の基準を満たす者に対しては、授業料減免の制度があります。また、納付期日までの授業料納付が困難な学生に対し、納付期日の変更等の制度があります。

(3) 住居

宮城大学が設置する学生寮はありませんが、アパート等に関して、宮城大学生協において情報を提供しています。

13 試験成績の開示

- (1) 開示内容 総合得点、科目別得点及び総合得点による順位
- (2) 受付期間 令和6年2月5日(月)～令和6年3月5日(火)
(土曜日、日曜日、国民の祝日、2月22日(木)及び2月26日(月)を除く)
- (3) 受付時間 午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで
- (4) 開示場所 宮城大学事務局(大和キャンパス) 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1
- (5) 必要書類 受験者本人が申込みを行う場合は、受験票を持参してください。
受験者の法定代理人が申込みを行う場合は、受験票、戸籍謄本等法定代理人の資格を証する書類、及び運転免許証等法定代理人本人を証する書類の3点を持参してください。
- (6) その他 電話・電子メール等の通信による問い合わせには一切応じません。また、受験者本人以外の方からの請求は、受付できません。

14 入学者選抜試験成績等の個人情報について

入学者選抜試験実施に伴い、本学が保有した試験成績等を含む個人情報については、入学者選抜に関する業務のほか、入学後の教務や学生支援・修学指導等の教育目的並びに授業料徴収、統計情報のとりまとめや調査・分析等の大学運営に資する業務に利用します。なお、統計情報や調査・分析結果の公表に際しては個人が特定できないよう処理を行います。また、各業務については、本学から業務委託を受けた業者（以下、受託業者という。）において実施することがあります。業務委託に当たっては、受託業者に対して、委託する業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供することがあります。

15 長期履修制度について

職業を有している等の事情により、博士前期課程2年の標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを希望する場合は、所定の申請を行うことにより、長期履修学生として許可される制度があります。手続機会は原則として入学時のみとし、許可された場合でも4年を超えて在学することはできません。

なお、基本的には通常のカリキュラム・授業時間割を使用し、教育・研究指導が行われます。

16 問い合わせ先

宮城大学（大和キャンパス）アドミッションセンター

〔住所〕 〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

〔電話〕 022-377-8334（看護学研究科入試担当直通）

〔E-mail〕 nyushi@myu.ac.jp

入学者選抜手数料支払方法のご案内

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み



マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払



<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学名 をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

(注意) 本学への出願は、出願期間最終日の消印有効となります。コンビニ端末での手続き後、お近くの郵便局での手続きが必要となりますので、出願期間最終日には、お近くの郵便局で当日の消印処理が可能であるか十分に確認のうえ、この後の手続きにお進みください。(※出願期間最終日の受付締切時間は22時となりますのでご注意ください。)

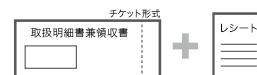
①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。



②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。



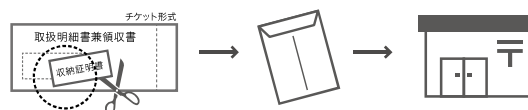
*お支払い済みの入学者選抜手数料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学者選抜手数料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学者選抜手数料の他に、払込手数料が別途かかります。
*払込期間初日は10時から手続き可能となります。

払込手数料(税込)	495円
-----------	------

3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、募集要項の指示に従って入学願書の裏面に貼り、郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【入試に関するお問合わせ先】 宮城大学 アドミッションセンター TEL 022-377-8333 (受付時間)月曜～金曜 8:30～17:15 *土曜・日曜・祝日を除く
【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお答えできません。

令和6年度 宮城大学大学院 看護学研究科（博士前期課程）の概要について

1 看護学研究科（博士前期課程）の目的及び教育目標

看護学研究科では、地域の保健医療において必要とされる高度かつ専門的な看護について、教育・研究と社会活動を行うことを目的とし、博士前期課程の教育目標を「保健医療福祉の現場の課題に対応できる知識・技術及び研究能力を持ち、高度な実践能力を備える専門的な看護職を育成する」とする。

2 看護学研究科（博士前期課程）の構成と特徴

博士前期課程は、看護基礎教育課程から博士後期課程の「生涯健康支援看護学」に連動する「基盤看護学」「成熟期看護学」「次世代育成看護学」「広域看護学」の4分野で構成し、また、高度な実学を基盤とした教育・実践・研究活動をとおして、保健医療福祉に寄与する高度専門職業人を養成することを目標として、「研究能力養成コース」「専門看護師養成コース」の2コースを設置する。

①研究能力養成コース（全領域に設置）

保健医療福祉の現場における看護の質の向上のために、対象となる人中心の看護の視点からの研究活動を通じて、看護学が扱う現象を科学的に追究できる研究能力を養成する。

②専門看護師養成コース（以下の2領域に設置）

保健医療福祉の現場における課題を科学的思考及び研究的視点で多角的に分析でき、課題に実効的に取り組むために必要な高度な実践力を備えた専門看護師を養成する。

- ・老年健康看護学領域
- ・がん看護学領域

（1）基盤看護学分野

基盤看護学分野は、全ての看護学分野の基盤として位置づく看護学分野である。基礎看護学・看護管理学の2領域で構成している。

基礎看護学領域：社会システムにおける看護の役割や看護技術の変遷について理解を深め、その課題の解決方法について探究する。

看護管理学領域：看護マネジメントの理論に関する知識を基盤に、対象のニーズに応じた質の高い看護を組織的に提供するための効果的なシステムや人材育成のあり方を探究する。

（２）成熟期看護学分野

成熟期看護学分野は、心身の健康問題をもつ成熟期の人々とその家族の健康を支援する看護学分野である。成人健康看護学・がん看護学・精神健康看護学・老年健康看護学の４領域で構成している。

成人健康看護学領域：急性疾患や慢性疾患を有する人とその家族の予防期から終末期における健康回復・維持・増進に貢献する看護支援方法を探究する。

がん看護学領域：予防期から終末期におけるがん患者とその家族の QOL を高める看護支援方法を探究する。加えて、がん患者とその家族を対象とする専門看護師としてのあり方や看護支援方法を探究する。

精神健康看護学領域：メンタルヘルスの問題を有する人とその家族が抱えている生活上の問題や課題について探究する。その上で、その人が持つ力を生かした看護支援方法を探究する。

老年健康看護学領域：さまざまな健康障害や生活機能障害のために他者の援助を受けながら医療施設やケア施設等、多様な場で生活している老年期の人々とその家族の看護支援方法を探究する。加えて、老年期の人々を対象とする専門看護師としてのあり方や看護支援方法を探究する。

（３）次世代育成看護学分野

次世代育成看護学分野は、次世代を担う人々やその育成に関わる人々の健康を支援する看護学分野である。母性健康看護学・小児健康看護学の２領域で構成している。

母性健康看護学領域：次世代の基盤となる母性・父性の発達と生涯の健康、周産期及び家族形成期にある対象の健康と QOL の向上を支援する看護方法を探究する。

小児健康看護学領域：健康問題を抱える子どもと家族の健康維持・増進に向けた課題を包括的に分析し、子どもや家族が過ごす場において、その子どもやその家族らしい健康的な生活と発達を支援する看護支援方法を探究する。

（４）広域看護学分野

広域看護学分野は、地域生活を基盤に、個人・家族・集団及び療養者の健康を支援する看護学分野である。地域健康看護学・在宅健康看護学の２領域から構成している。

地域健康看護学領域：地域で生活する人々の健康の保持増進、QOL の向上のために連続的に機能する地域ケアシステムの開発・構築を探究する。また、個々の健康問題と家族・地域社会との関連を分析し、地域のニーズに対応した看護活動を探究する。

在宅健康看護学領域：地域療養者とその家族が持つ複雑な健康問題とニーズを包括的に捉えて科学的に分析し、地域のケアシステムにおける療養生活支援の検討を通じて、対象となる人々の QOL の向上を目指した看護方法を探究する。

3 令和6年度開講予定科目

専門科目

分野	領域	講義科目	配当年次	単位数	演習・実習科目	配当年次	単位数
基盤看護学	基礎看護学	基礎看護学特論Ⅰ	1 前	2	基礎看護学演習Ⅰ	1 後	2
		基礎看護学特論Ⅱ	1 後	2	基礎看護学演習Ⅱ	2 前	2
	看護管理学	看護管理学特論Ⅰ	* 1 前	2	看護管理学演習Ⅰ	1 後	2
		看護管理学特論Ⅱ	1 後	2	看護管理学演習Ⅱ	2 前	2
成熟期看護学	成人健康看護学	成人健康看護学特論	1 前	2	成人健康看護学演習Ⅰ	1 後	2
		成人健康看護学援助論	1 後	2	成人健康看護学演習Ⅱ	2 前	2
	がん看護学	がん病態生理学	* 1 前	2	がん看護学演習Ⅰ	* 1 前	2
		がん看護学特論Ⅰ	* 1 前	2	がん看護学演習Ⅱ	* 1 後	2
		がん看護学特論Ⅱ	* 1 前	2	がん看護学実習Ⅰ	* 1 後	4
		がん看護学援助論Ⅰ	* 1 前	2	がん看護学実習Ⅱ	* 2 前	3
		がん看護学援助論Ⅱ	* 1 後	2	がん看護学実習Ⅲ	* 2 前	3
	精神健康看護学	精神健康看護学特論	1 前	2	精神健康看護学演習Ⅰ	1 後	2
		精神健康看護学援助論	1 後	2	精神健康看護学演習Ⅱ	2 前	2
	老年健康看護学	老年健康看護学特論Ⅰ	* 1 前	2	老年健康看護学演習Ⅰ	* 1 後	2
		老年健康看護学特論Ⅱ	* 1 前	2	老年健康看護学演習Ⅱ	* 1 後	2
		老年医療学	* 1 後	2	老年健康看護学実習Ⅰ	* 1 後	4
		老年健康看護学援助論Ⅰ	* 1 後	2	老年健康看護学実習Ⅱ	* 2 前	3
		老年健康看護学援助論Ⅱ	* 1 後	2	老年健康看護学実習Ⅲ	* 2 前	3
次世代看護学	母性健康看護学	母性健康看護学特論	1 前	2	母性健康看護学演習Ⅰ	1 後	2
		母性健康看護学援助論	1 後	2	母性健康看護学演習Ⅱ	2 前	2
	小児健康看護学	小児健康看護学特論	1 前	2	小児健康看護学演習Ⅰ	1 後	2
		小児健康看護学援助論	1 後	2	小児健康看護学演習Ⅱ	2 前	2
広域看護学	地域健康看護学	地域健康看護学特論Ⅰ	1 前	2	地域健康看護学演習Ⅰ	1 後	2
		地域健康看護学特論Ⅱ	1 後	2	地域健康看護学演習Ⅱ	2 前	2
	在宅健康看護学	在宅健康看護学特論Ⅰ	1 前	2	在宅健康看護学演習Ⅰ	1 後	2
		在宅健康看護学特論Ⅱ	1 後	2	在宅健康看護学演習Ⅱ	2 前	2
研究能力養成コース：看護学特別研究（配当年次 1・2 年次 8 単位）を履修							
専門看護師養成コース：がん看護学課題研究＊または老年健康看護学課題研究＊（配当年次 1・2 年次 4 単位）を履修							

専門共通科目

講義科目	配当年次	単位数	講義科目	配当年次	単位数
看護研究特論	* 1 前	2	看護教育学	* 1 前	2
看護研究方法特論	1 後	2	フィジカルアセスメント	* 1 前	2
コンサルテーション論	* 1 前	2	病態生理学	* 1 前	2
看護倫理	* 1 前	2	臨床薬理学	* 1 前	2
看護政策論	* 1 後	2	災害看護学	1 前	2
看護理論	* 1 前	2			

共通選択科目

講義科目	配当年次	単位数	講義科目	配当年次	単位数
保健情報学	1 後	2	医療経済学	1 前	2
在宅医療学	1 後	2	疫学統計	1 前	2
保健行動科学特論	1 後	2	統計学特論	1 前	2
人間関係情報処理論	1 前	2	社会福祉学特論	1 前	2

※現時点での予定を記載しておりますので、変更になる場合があります。

《宮城大学大学院看護学研究科博士前期課程窓口教員 出願連絡先一覧》

専門分野	専門領域	職位	氏名	連絡先
基盤看護学	基礎看護学	教授	木村 眞子	TEL 022-377-8262 E-mail:kimuran@myu.ac.jp
		准教授	竹本 由香里	TEL 022-377-8254 E-mail:takemotoy@myu.ac.jp
	看護管理学	教授	金子 さゆり	TEL 022-377-8261 E-mail:kanekos@myu.ac.jp
成熟期看護学	成人健康看護学	教授	齊藤 奈緒	TEL 022-377-8242 E-mail:saiton@myu.ac.jp
	がん看護学	教授	菅原 よしえ	TEL 022-377-8734 E-mail:sugawayo@myu.ac.jp
	精神健康看護学	教授 (副研究科長)	大熊 恵子	TEL 022-377-8358 E-mail:okumakei@myu.ac.jp
	老年健康看護学	准教授	沢田 淳子	TEL 022-377-8069 E-mail:sawadaa@myu.ac.jp
次世代育成看護学	母性健康看護学	教授	谷津 裕子	TEL 022-377-8260 E-mail:yatsuh@myu.ac.jp
	小児健康看護学	准教授	相樂 直子	TEL 022-377-8258 E-mail:sagaran@myu.ac.jp
		准教授	三上 千佳子	TEL 022-377-8236 E-mail:mikamchi@myu.ac.jp
広域看護学	地域健康看護学	教授	安齋 由貴子	TEL 022-377-8268 E-mail:anzai@myu.ac.jp
	在宅健康看護学	教授 (研究科長)	高橋 和子	TEL 022-377-8245 E-mail:takahakz@myu.ac.jp
		教授	花里 陽子	TEL 022-377-8550 E-mail:hanazatoy@myu.ac.jp

【試験会場案内】看護学研究科

宮城大学^{たいわ}大和キャンパス

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

電話 022-377-8334

【JR仙台駅からの交通案内】

JR仙台駅から公共交通機関を利用する場合は、(1)仙台駅発着路線バス又は(2)仙台市地下鉄南北線を利用する方法があります。

(1) 仙台駅発着路線バス（宮城交通バス）を利用する方法

JR仙台駅西口のバスプール2番から、路線バス（宮城交通）「宮城大学・仙台保健福祉専門学校」行きに乗りしてください。県庁市役所・泉アウトレットを経由する路線と上杉通・泉アウトレットを経由する路線のどちらも乗車可能です。宮城学院、泉アウトレットを経由し、所要時間約50分で「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」バス停留所に到着します。（片道料金700円：令和5年10月1日現在）

(2) 仙台市地下鉄を利用する方法

① JR仙台駅からは、地下1階の自由通路を通り、隣接する仙台市地下鉄仙台駅に向かい、地下鉄南北線「泉中央」行きに乗りしてください。所要時間約15分で泉中央駅に到着します。（片道料金310円：令和5年10月1日現在）

② 仙台市地下鉄泉中央駅で地下鉄を下車し、路線バス（宮城交通）に乗り継ぐか、又は、タクシーを利用してください。

ア 路線バス（宮城交通）を利用する場合は、東1出口からバスプール3番に向かい、「泉パークタウン」行き（宮城大学経由）に乗りしてください。宮城大学を経由しない路線もありますのでご注意ください。桂・高森地区経由で所要時間約30分、アウトレット・JCHO仙台病院地区経由で所要時間約35分です。「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」バス停留所で降りてください。

（片道料金420円：令和5年10月1日現在）

イ タクシーを利用する場合、泉中央駅のタクシープールは駅舎2階北側にあります。

宮城大学にはキャンパスが2つあるほか、仙台市には「みやぎ台」という地区がありますので、**行き先を告げる際は、「泉パークタウン隣の宮城大学」とはっきり伝えてください。**泉中央駅から所要時間約20分で、料金は片道2,000円程度です。



宮 城 大 学

<https://www.myu.ac.jp/>

【大和キャンパス】

〒981-3298

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

☎ 022-377-8334

- 看護学群 看護学類
- 事業構想学群 事業プランニング学類 地域創生学類 価値創造デザイン学類
- 看護学研究科
- 事業構想学研究科

【太白キャンパス】

〒982-0215

宮城県仙台市太白区旗立2-2-1

- 食産業学群 生物生産学類 フードマネジメント学類
- 食産業学研究科